

呉工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	ハングル		
科目基礎情報								
科目番号	0049			科目区分	一般 / 選択必修			
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 2			
開設学科	機械工学科			対象学年	5			
開設期	通年			週時間数	2			
教科書/教材	朴大王・李賛任(共著)『韓国語入門』白帝社、木内明著『基礎から学ぶ韓国語講座（初級）改訂版』国書刊行会							
担当教員	李 政樹							
到達目標								
1. 動詞・形容詞等の活用ができる。 2. 簡単な作文ができる。								
ルーブリック								
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1		動詞・形容詞等の活用が適切にできる		動詞・形容詞等の活用ができる		動詞・形容詞等の活用ができない		
評価項目2		簡単な作文が適切にできる		簡単な作文ができる		簡単な作文ができない		
評価項目3								
学科の到達目標項目との関係								
学習・教育到達度目標 本科の学習・教育目標 (HA)								
教育方法等								
概要	1年間学習した者を対象にする。2年間の学習でハングル能力検定試験5級の合格程度の力をつける。							
授業の進め方・方法	講義を基本とする							
注意点	欠席の場合は後日の授業に多大な支障が生じるため、欠席は絶対にしないこと。							
授業計画								
前期	1stQ	週	授業内容			週ごとの到達目標		
		1週	第1課～第3課の復習、第11課 いくらですか			ポイント1 変則		
		2週	第4課・第5課の復習、第11課 いくらですか			ポイント2 漢数詞、活用練習、応用表現		
		3週	第6課・第7課の復習、第12課 明日は時間ありますか			ポイント1 勧誘表現		
		4週	第8課・第9課復習、第12課 明日は時間ありますか			ポイント2 固有数詞、活用練習、応用表現		
		5週	第10課の復習・第13課 何歳ですか			ポイント1 疑問詞		
		6週	第13課 何歳ですか			ポイント2 自己紹介、活用練習、応用表現、11課～13課のまとめ		
		7週	中間試験					
	2ndQ	8週	答案返却・解答説明・復習					
		9週	第14課 コンサートに行ったことがありますか			ポイント1 経験の表現		
		10週	第14課 コンサートに行ったことがありますか			ポイント2 否定形、活用練習、応用表現		
		11週	第15課 どうやって行きますか			ポイント1 仮定・条件の表現		
		12週	第15課 どうやって行きますか			ポイント2 助詞③、活用練習、応用表現		
		13週	第16課 2人前ください			ポイント1 尊敬の表現		
		14週	第16課 2人前ください			ポイント2 理由の表現、活用練習、応用表現、14課～16課のまとめ		
		15週	期末試験					
後期	3rdQ	16週	答案返却・解答説明					
		1週	第17課 トイレはどこですか			ポイント1 位置名詞		
		2週	第17課 トイレはどこですか			ポイント2 企業名、活用練習、応用表現		
		3週	まとめ			様々な発音の変化など		
		4週	『基礎から学ぶ韓国語講座（初級）改訂版』第1課 私は浅井ゆかりです			自己紹介		
		5週	第2課 出身はソウルですか			出身を聞く		
		6週	第3課 図書館ではありません			場所を聞く		
		7週	第4課 時間がありますか			時間の都合を聞く、1課～4課のまとめ		
	4thQ	8週	中間試験					
		9週	答案返却・解答説明・復習					
		10週	第5課. ネットカフェでパソコンをします			します/しますか		
		11週	第6課. 貿易会社で働いています			もう一つの言い方の学習		
		12週	第7課. 東大門市場に行きます			動詞の学習		
		13週	第8課. しょっちゅうスーパーで買います			もう一つの言い方の用言の学習		
		14週	復習			5課～8課のまとめ		
		15週	学年末試験					
16週	答案返却・解答説明							
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標								
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週	

基礎的能力	工学基礎	グローバル ゼーション ・異文化多 文化理解	グローバル ゼーション ・異文化多 文化理解	世界の歴史、交通・通信の発達から生じる地域間の経済、文化、政治、社会問題を理解し、技術者として、それぞれの国や地域の持続的発展を視野においた、経済的、社会的、環境的な進歩に貢献する資質を持ち、将来技術者の役割、責任と行動について考えることができる。	2		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	30	0	100
基礎的能力	70	0	0	0	30	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0